

データに基づく生育改善に向けた産地の取組

(岐阜県神戸町下宮青果部会協議会)

令和2年度優良土づくり推進活動表彰(土壌医:個人部門) 農林水産省生産局長賞受賞

- 生産者数 80名
- 栽培面積 40ha (ハウス)
- 小松菜、葉ネギ、水菜、モロヘイヤ等を周年栽培(年7作程度)
- 世代交代・品目転換・新規参入等、生産者の多様化や、畑や水田、連作や新規、自作地や借地等、条件が異なるほ場の増加により、

さまざまな土壌条件に起因する多様な生育障害が顕在化

発芽不良、生育ムラ、伸長停止等 (コマツ)



下葉縁の白斑・枯れ (コマツ)

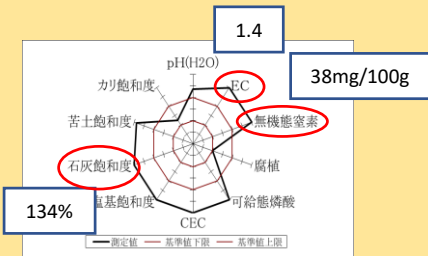


葉先枯れ (葉ネギ)



※新規栽培ほ場にて発生

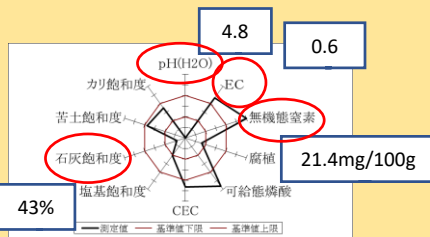
無機態窒素・石灰が過剰・高EC



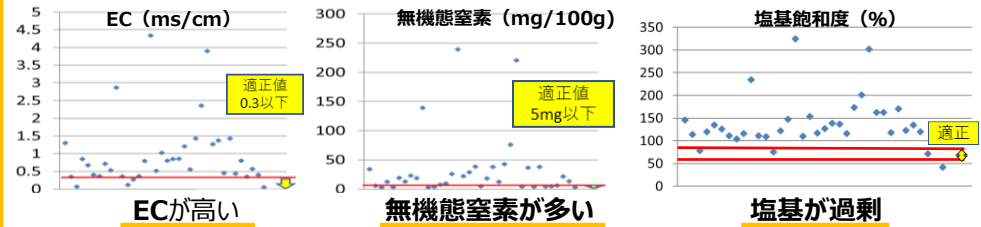
石灰・苦土の割合が高く、カリウムが不足

	塩基飽和度 (%)		
	石灰	苦土	カリウム
生育不良場所	96	20	1
(参考) 改善目標値	53~70	14~23	3~7

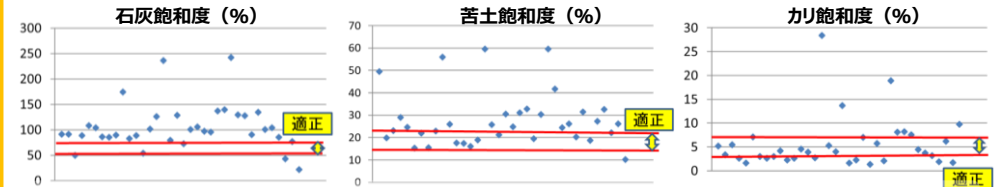
無機態窒素過剰、高EC、石灰不足→低pH



産地での土壌診断の一斉実施と対応策の検討

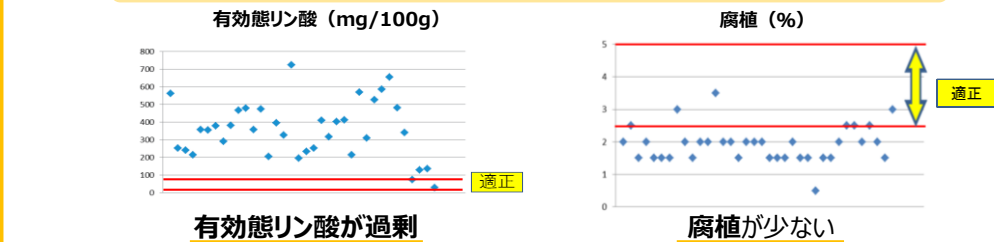


栽培開始前の灌水除塩や深耕による塩類濃度希釈



石灰・苦土が過剰→塩基バランスの崩れによりカリウム欠乏が生じやすい

カリ質資材の変更・増量 (溶けにくいケイ酸カリ→溶けやすい硫酸カリ)



有効態リン酸が過剰

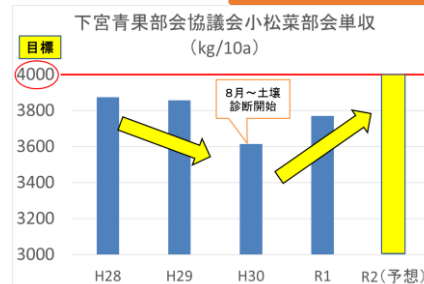
腐植が少ない

低リン成分肥料の推進

植物性堆肥・腐植質資材の導入

診断結果と改善事例から

肥培管理の対策を指針化・個別相談会を実施



ほとんどの生理障害が解決。年々減少傾向だった産地の単収も回復傾向へ。令和2年は**目標収量達成 (4,000kg/10a)**見込み。一斉土壌診断は年間4回を継続的に実施。品質・収量向上に貢献。

灌水装置の不具合から灌水ムラによる塩類集積が発生。装置の点検などを指導。